

協定留学近況報告書

記 入 日	2022年 10月 29日
留 学 先 大 学	イーストアングリア大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）：言語、コミュニケーション学部，（現地言語での名称）：Language and Communication <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他：
留 学 期 間	2022年9月－2023年6月
明 治 大 学 での 所 属	国際日本学部 国際日本学科
学 年（出 発 時 本 学 での 学 年）	学部 3年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

現地での生活について、日本と異なる部分や注意すべき点について、在住の日本人のブログなどで情報を集めました。

II-1. 留学のための渡航前手続き（留学ビザ） ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：Student Visa	申請先：UK Government
ビザ取得所要日数：約一か月 （申請してから何日／週間要したか）	ビザ取得費用：VISA に 8 万円、NHS 利用のための健康保険付加料(IHS)に 6 万円(VISA 取得のためには必須)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

パスポートや英語能力試験の成績、CAS(イギリスの大学に留学が認められた際にもらえる書類)など

具体的な申し込み手順を教えてください。

(ビザは6ヶ月以上の滞在の場合のみ必要。)

オンラインで申請後、ビザ申請センターに訪問し写真や指紋をとる。パスポートにビザに当たるものが付けられ、約一か月後に受け取りに行く。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

ビザ取得に関して困った点・注意点

ビザのオンライン申請の際、CASの番号を入れる必要があるが、大学がCASをくれるのは7月あたりで遅いため、CASをもらったらずぐに申請を進めないと出国までに間に合わなくなる。CASが中々来ない場合は大学にメールで聞くべき。

II-2. 留学のための渡航前手続き（その他の事前準備について）

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

イギリスはカード社会であるため、現金は、ロンドンの電車の駅のトイレの利用や、スーパーの大きなカートを利用する際、フリーマーケットで物を購入する際など非常に限られた場面でのみしか利用しません。現金を使用する際は紙幣よりもコインが活躍します。

カードしか受け付けない場所が多く、更にコンタクトレス（カードを差し込まずに、かざすだけで決済ができる）のカードしか受け付けない場所も多いです（バス、カフェなど）。VISAのコンタクトレスカードをお勧めします。カードは紛失に備えて複数用意すること、また、円からポンドに替える際の手数料が大きいと留学を通してかなりの高額を両替手数料に払うことになるため、両替手数料が低いカードを選ぶことが重要です。カードは一日で発行できるものではないため、余裕を持って発行申請をするべきです。

荷物輸送は、送料が非常に高いため注意が必要です。

Ⅲ. 現地到着後のなぐれ

1.到着時の様子

利用航空会社	エミレーツ航空				
航空券手配方法	比較サイトで決めた後、その航空会社のホームページにとびました。 イギリスは日本から遠く、直行便だと13-15時間です。長時間の移動に耐えられない私は羽田-ドバイ-ロンドンの経由便にしました。 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	ヒースロー空港（ロンドンです。大学最寄ではありません）	現地到着時刻	14:25		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	ロンドン→ノリッジ:電車で3時間 ノリッジ→大学:バスで30分				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

大学側が留学生用にバス(coach)を手配してくれるなら利用すべき。バスは遅いが安い。電車は早いが高い。ロンドンから他の都市までの電車は、駅でチケットを購入する。ロンドンからノリッジまでは£61でした。

大学到着日	9月14日17時頃(ロンドンに到着してから3日ほど観光しているため上記の現地到着時刻とは別日)
-------	---

2.住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他(キッチン10人で共有)	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(多様性重視の為ランダム。)	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	大学のホームページにて、キャンパス内外の豊富な種類の寮から希望する寮をえらびました。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

ルームメイトについて、イーストアングリア大学は多様性を重視しているため、男女混合、現地人、留学生関係無く決まります。私のルームメイトは7人がイギリス人、1人がスペイン人の留学生、私を含め2人が日本人留学生でした。一般的に大学の寮に住むのは大学生になりたての一年生で、二年生以降はキャンパス外に住みます。

3.留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9/16?
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容の様子は?	大学の説明と、こんな時にはここに連絡または訪問して下さい、私達はいつでも相談にのります、という説明。改まった雰囲気は無く、ちょっとした紹介のような感じだった。 留学生は正規生より先に到着するため、留学生向けのイベントが毎日行われる週があった。ここでキャンパスや地域について知ったり、留学生と交流することができた。
留学生用特別ガイド	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月26日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

無し。大学到着後、すぐに所定の場所で書類に名前を書き、部屋の鍵を貰った。

2. その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

到着後メールにて案内が来たため、無料がかかれる病院 NHS のかかりつけ医(GP)への登録をオンラインで行い（無料、一週間ほどで登録完了）、推奨されている予防接種のうち未接種のものは GP にて無料で接種。ただし普段 NHS を利用する際、診断は緊急時を除き予約制で、私が予約をとった際は一週間先となった。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

特に必要性を感じていないため現在は開設していない。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

自分の携帯を持参し、イギリスの SIM を挿入している。毎月オンラインでチャージしている。これによりイギリスの電話番号が手に入る。私は VISA 取得の際に発行会社からもらった Lebara を使用している。初月無料、二か月目半額、それ以降は月 15GB で£10。但し日本への国際電話は有料。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に（ 月 日頃）

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他（ ）

到着後に（ 月 日頃）

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他（ ）

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先されているかどうかは不明だが、オンラインにて、三つの授業のうち、二つは自分が所属を決めた学部から、一つは学部関係なく選ぶことができ、全ての授業の中から制限なく春秋の履修希望科目を合計 18 科目まで提出し、上位の科目から登録された。第一希望が通っていなかったため変更をオンラインのフォームにて申請したところ、受理された。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

上記の通り。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00							
10:00						町にお出かけ又は友達との予定	
11:00	授業 1		予習・復習	英語学習 (自習)		"	予習・復習
12:00	授業 1		"	"		"	"
13:00			"	"		"	"
14:00		授業 2				"	
15:00		授業 2	Writing (non credit)		授業 3	"	部活
16:00	Reading (non credit) 希望者のみ履修可		Listening (non credit)		授業 3	"	
17:00				大学にて日本語ボランティア		"	
18:00	予習・復習				公園散歩		大学や Society のイベントがあれば参加
19:00	"						"
20:00	"						
21:00							予習・復習
22:00							"
23:00						ナイトクラブ (~3:00) (月に 1,2 回)	"
24:00						"	

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

大学のキャンパスは、自然豊かで広々としており、うさぎや鳥を見ることができます。カフェや図書館、バーにジムなど豊富な施設が揃い、キャンパス内でも充実した生活を送ることができます。更に、大学では常に様々なイベントやナイトクラブ（有料）が開催されています。近くには広い公園が二つあり、バスで15分ほどの、街の中心地である City Center に行くことができます（往復£5.3）。食糧は、キャンパス内のコンビニ兼ミニスーパー、徒歩15分程の小さなスーパー、徒歩30分のスーパー、City Center の大規模なスーパーなどがあり、私は主に徒歩30分のスーパーを利用しています。

宿舎は場所によって異なりますが、大学の寮であれば、友達に会ったり、大学の施設やイベントへのアクセスが容易になります。壁は薄いですが、Wi-fi は途切れることはなく、共有のキッチンフラットメイトとの交流の場となります。懸念点としては避難訓練として火災報知器が頻繁に鳴ること、冷蔵庫の数がフラットメイトの人数と釣り合わず使用できるスペースが限られること、Ground Floor は5cm位の蜘蛛を始めとする虫が発生することです。また、寮やフラットによって静かな所や夜中でも音楽を流す所もあります。

参考までに、Village はキャンパスから10分位と少し離れているためか、フラットは静かだと聞きます。

私はできる限り自炊を心掛けていますが、デリバリーやできあがった料理をチンして食べる人もいます。日本人の留学生は、日本食を作っている人が多い印象です。現地の学生は、冷凍食品をチンしたり、肉を焼いたり高カロリーな物を食べている印象です。食器は、基本的に全て自分で用意します。こちらで購入することもできます。食品を購入する際は、腐っていたり、つぶれたり割れているものがないかよく確認することをおすすめします。

洗濯は、キャンパスに洗濯機用のスペースがあります。洗濯は£3.2、乾燥は£2.4 と高額なため、私は洗濯のみ週一で使用し、部屋で乾燥しています。ちなみにイギリスはほとんどの地域が硬水ですが、体に合わない訳でなければ問題ありません。私は、飲料水は図書館のウォーターサーバーを水筒に汲み飲んでます。

部活(sport club)と文化系サークル(society)について、Club は、大学とは独立した施設を使用するため、年間費用に£100以上支払う必要があります。学期初めには体験をすることができます。Society は£5ほどで入会でき、開催されるイベントや集まりに格安または無料で参加することができます。

現地での交流関係について、学年始めの9月2,3週目に留学生向けのイベントがあり、そこで日本人を含め留学生とのつながりを作りました。英語ができると現地のフラットメイトとも仲良くなることができると思いますが、アジア人はあまり現地のイギリス人と深い関係を築くことが難しいと感じています。日本が好きだったり、日本とのハーフ、日本語を勉強している人などとは比較的仲良くなりやすいです。

授業について、学部や履修する授業により異なりますが、履修する科目は三つです。講義、セミナー、ワークショップなどがあり、週に一回のみの授業もあれば、講義とワークショップのセットで週に二回授業があることもあります。講義やセミナーは主に110分です。授業についていくのが難しくても、パワーポイントやハンドアウトを事前にオンラインでアップしてくれるため、予習して準備することができます。課題は提出するものよりも、膨大なページ数のリーディングが主です。中間課題、最終課題はプレゼンテーションやエッセイです。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

持ち物として、寒い防寒具を、またこちらには便利グッズが売っていないため、ダイソーなどの百貨店で購入できる便利グッズを持参することをお勧めします。消耗品は化粧品以外は荷物になるためこちらでの購入をおすすめします。